

## ～対馬市が年収328万円の対馬家だったら…～

対馬市の平成25年度一般会計当初予算は、327億9,000万円ですが、このままでは金額が大きすぎてなかなか実感がわかないと思います。そこで予算を10,000分の1にして、年収328万円の家庭に置きかえた場合の年間家計簿を作ってみました。

### 対馬市の一般会計予算

歳入

項目		金額
自主財源	市税、使用料など	35億6,740万円
	基金からの繰入金	6億8,661万円
依存財源	地方交付税	150億2,806万円
	国県支出金など	67億3,093万円
	市債	67億7,700万円
合計		327億9,000万円

歳出(性質別)

項目		金額
義務的経費	人件費	54億3,635万円
	扶助費	36億5,502万円
	公債費	61億2,909万円
投資的経費(普通建設事業費)		50億2,291万円
その他の経費	物件費	43億7,376万円
	繰出金	19億2,536万円
	補助費等・貸付金など	52億8,899万円
	積立金	9億5,852万円
合計		327億9,000万円

### 対馬家の家計簿

収入

項目	金額		割合(%)
	年間	1ヶ月	
給料	35.7万円	3.0万円	10.9
貯金からの取り崩し	6.9万円	0.6万円	2.1
親などからの援助	150.3万円	12.5万円	45.8
親などからの援助	67.3万円	5.6万円	20.5
借金(ローン)	67.8万円	5.6万円	20.7
合計	328.0万円	27.3万円	100.0

支出

項目	金額		割合(%)
	年間	1ヶ月	
食費	54.4万円	4.5万円	16.6
医療費	36.6万円	3.1万円	11.2
借金(ローン)の返済	61.3万円	5.1万円	18.7
家の増改築・修繕費、電化製品の買い替え	50.2万円	4.2万円	15.3
光熱水費、電話代	43.7万円	3.6万円	13.3
子どもへの仕送り	19.3万円	1.6万円	5.9
地区会費、趣味活動の会費	52.9万円	4.4万円	16.1
貯金	9.6万円	0.8万円	2.9
合計	328.0万円	27.3万円	100.0

対馬家(市)の支出の状況を見てみますと、食費(人件費)、医療費(扶助費)、借金の返済(公債費)などに多くのお金がかかっています。これらの経費は、その支出が義務付けられ、必ず支払わなければならないものです。この義務的経費の比率が大きければ大きいほど、自由に使えるお金が少なくなります。生活(行財政運営)のためには、家や電化製品など老朽化による修理や買い替え(投資的経費)も必要ですし、子どもへの仕送り(繰出金)、地区会費、趣味活動の会費(補助費等・貸付金)などの支出も必要です。対馬市の場合、義務的経費の割合が支出全体の46.5%を占めています。

一方、収入の状況を見てみますと、給料(市税や使用料)、貯金の取り崩し(基金からの繰入金)など、自主的に収入することのできる自主財源だけでは生活(行財政運営)することができず、親からの援助(地方交付税や国県支出金)、借金(市債)などの依存財源に頼っています。対馬市の場合、依存財源の合計は収入全体の87.0%で、その中でも地方交付税は45.8%を占めていますので、対馬市がいかに地方交付税に頼って行財政運営をしているのかわかります。

これからも、厳しい状況が続くと予想されますが、買い換えを延ばせるものは先延ばししたり、節電・節水に努めたり、家の増改築等を必要最低限のものにするなど、工夫してやりくりしていきます。